# 平成31年度　都立学校・学校経営シート

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 校章 | | 都　立　志　村　学　園 | 肢体不自由・知的障害 | | |
| | | 校訓　「継続は力なり」<br>自立に向けて　“今の自分にできること”　“今の自分がするべきこと”を誠実に積み重ねることを大切にします。 | | | |
| 基本情報 | 所在地 | 〒　174-0045<br>板橋区西台一丁目41番10号 | 電話番号 | 03-3931-2323 | |
| | アクセス | (1)　都営三田線西台駅　徒歩15分<br>(2)　東部東上線東部練馬駅　国際興業バス「西台一丁目」下車　徒歩3分<br>(3)　JR埼京線浮間舟渡駅　国際興業バス「西台一丁目」下車　徒歩3分 | | | |
| | 設置学部 | 知的障害教育部門《高等部就業技術科》<br>肢体不自由教育部門《小学部・中学部・高等部普通科》 | | | |
| | 幼児・児童生徒数 | 高等部就業技術科：238 名<br>肢体不自由教育部門：97名（小学部　57名　中学部　14名　高等部　2 | | | |
| | 学級数 | 高等部就業技術科：24学級<br>肢体不自由教育部門：26学級（小：15学級　中：4学級　高：7学級） | | | |
| | スクールバス | 14台 +　医療的ケア付専用車両4台 | | | |
| | その他 | 平成25年4月1日開校 | | | |
| 基本情報 | 通学区域 | 高等部就業技術科：都内全域<br>肢体不自由教育部門：板橋区の4/5、練馬区の1/3、北区の1/5 | | | |
| | 進路実績 | 高等部就業技術科：平成30年度卒業生　就労率93.4%<br>肢体不自由教育部門高等部：平成30年度卒業生　福祉法施設　9名 | | | |
| | 教育課程の特徴 | ①　高等部就業技術科：職業教育の充実（4つの職業コースと段階的な現場実習） | | | |
| | | ②　肢体不自由教育部門：外部専門家との協働による教育の充実 | | | |
| | | ③　共通：多様な進路希望に応える進路指導の推進 | | | |
| | | ④　共通：ICT機器の活用、教材教具の工夫、学習意欲を高める教室環境調整 | | | |
| | | ⑤　共通：併置校の良さを活用した交流授業 | | | |
| | 副籍実施状況 | 肢体不自由教育部門小・中学部：平成30年度副籍交流実施者数（43人） | | | |
| | 学校評価 | 高等部就業技術科：志村学園に入学して良かった（生徒82%、保護者92%）<br>肢体不自由教育部門：安心して学校に送り出すことができる（保護者100%） | | | |
| | ホームページ | http://www.shimuragakuen-sh.metro.tokyo.jp/ | | | |

| | |
|---|---|
| 目指す学校 | 東京都立志村学園は、学校教育を通して児童・生徒のQOLを向上させる学校を目指します<br>東京立志村学園は、特別支援教育のトップリーダーになることを目指します |

| | 今年度の重点目標 | 今年度の取組と自己評価 |
|---|---|---|
| 目標① | **企業就労100%(就業技術科)。進路決定100%(肢体不自由部門高等部)。**<br>〇ハローワーク等と連携し就労先の拡大を図るとともに、職業に関する教科や現場実習などをとおして希望する就職したい職種や企業を自ら決定させる。(就業技術科)<br>〇板橋区、練馬区、北区と連携し、さまざまな進路先の情報の収集し、適切な進路先を決定していく。(肢体不自由部門) | 〇進路指導とは進路先を決定する一連の指導(狭義の進路指導)だけではなく、生徒が将来よく生きるための教育・指導・支援をすること(広義の進路指導=キャリア教育)であると捉え取り組む。<br>〇ワークキャリアだけでなく、児童・生徒のライフキャリアが充実するよう、指導全般にわたり努める。<br>【自己評価】<br>就業技術科3年生は、入学者80名が退学者なく卒業。78名が企業就労した。肢体不自由教育部門高等部は卒業生8名中7名が居住地の通所施設利用、1名が在宅でのQOL向上を図ることとなった。 |
| 目標② | **障害特性を踏まえた指導の充実**<br>主障害(就業技術科は軽度知的障害、肢体不自由教育部門は肢体不自由)はもとより、発達障害やメンタル系の障害、愛着障害など児童・生徒一人一人の障害特性を踏まえた指導を充実させる。 | 〇児童・生徒一人一人の障害特性に対応するため、指導資料を作成するとともに、発達障害やメンタル系の障害、その他の障害(愛着障害・起立性調節障害等)など多様化する障害の特性を理解し、指導を展開する。<br>【自己評価】<br>全校公開研究会においては、教員20組が研究発表を行った。就業技術科においては、進路変更者0名であった。 |
| 目標③ | **新たな課題と向き合う組織的な学校経営**<br>喫緊の学校課題である「未来を創造するキャリア教育の構築」「全校公開研究会の実施」などについては、それぞれプロジェクトチームを作り対応する。(各プロジェクトとも月1回程度実施) | 〇「未来を創造するキャリア教育の構築」については将来構想プロジェクトを立ち上げ、将来本校卒業生を取り巻く社会構造や職場環境の変化を考え、就業技術科「職業に関する教科」などの指導内容や指導形態の改善への道筋を示す。また肢体不自由教育部門のキャリア教育改善への基本的資料とする。<br>〇令和2年2月5日に実施する「全校公開研究会の実施」に向けて全校公開研究会プロジェクトを立ち上げ、研究会当日までのロードマップを示すとともに、開催に向けて準備を整える。<br>【自己評価】未来を創造するキャリア教育の構築の方向性を決め、今後、教員が学ぶべき点をまとめた。 |

数値目標

| | 今年度の数値目標の内容 | 28年度 | | 29年度 | | 30年度 | | 今年度 | | 32年度 | 33年度 | 34年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 目標 | 目標 |
| 目標① | 就業技術科の企業就労内定率(%) | 100% | 98.7% | 100% | 96.1% | 100% | 93.4% | 100% | 97.5% | 100% | 100% | 100% |
| 目標② | 学校公開・公開研究会参加者数　合計(人) | | | | | 1,200 | 1,469 | 1,300 | 1,463 | | | |
| 目標③ | 医療的ケアに関する第三号研修受講済者率(%) | | | | | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% |